

2023年度 第2回 理事会発言録

1、開催日時 2023年6月22日(木曜日) 18:00 ~ 20:10

1、開催場所 弘前大学 大学会館3階 大集会室

1、役員出欠

<input type="checkbox"/>	家上 凌弥	<input type="checkbox"/>	石塚 哉史	<input type="checkbox"/>	一條 健司	<input type="checkbox"/>	伊藤 誠勝
<input type="checkbox"/>	大澤 孝誠	<input type="checkbox"/>	小野 夏七斗	<input type="checkbox"/>	片桐 隼人	<input type="checkbox"/>	上遠野 泰
<input type="checkbox"/>	小枝 周平	<input type="checkbox"/>	小林 遥人	<input type="checkbox"/>	小村 晃		近藤 史
<input type="checkbox"/>	坂本 真樹	<input type="checkbox"/>	篠崎 美沙	<input type="checkbox"/>	島田 透	<input type="checkbox"/>	鈴木 愛理
<input type="checkbox"/>	瀬川 さやか	<input type="checkbox"/>	芹田 美穂子	<input type="checkbox"/>	谷本 茜理	<input type="checkbox"/>	陳 暁帥
	東藤 多輝		永瀬 範明	<input type="checkbox"/>	中村 優翔	<input type="checkbox"/>	成田 拓未
<input type="checkbox"/>	成田 佳乃	<input type="checkbox"/>	難波 恵汰	<input type="checkbox"/>	本多 和茂	<input type="checkbox"/>	三ツ井 彰吾
<input type="checkbox"/>	森田 直文	<input type="checkbox"/>	山田 史生	以上、出席理事			27名
<input type="checkbox"/>	赤石 梨華	<input type="checkbox"/>	浅野 愛菜佳	<input type="checkbox"/>	加藤 恵吉	<input type="checkbox"/>	澤 桃奈
<input type="checkbox"/>	寺井 彩乃		三上 徹	以上、出席監事			5名
<input type="checkbox"/>	三浦 貴司	<input type="checkbox"/>	成田 明夫	<input type="checkbox"/>	野々村 佳織	<input type="checkbox"/>	大川 遥
				以上、出席オブザーバー			4名

(順不同)

1、 発言内容 (□:役員による発言、■:生協職員による発言)

●理事会<協議事項>

第1号議案 第62回通常総代会 振り返り

【1班】

- 実出席の人数は多い方なのか。
- 以前はもっと多い時もあった、実出席を増やすためにはどうしたかいいか。
- 食べ物で釣るのもどうかと思うが、お弁当だけではなく、資料を入れるフォルダとか、株主総会などであるようなちょっとしたお土産があるといい。
- Picoを付与したのは実出席のみか。
- 実出席のみ。
- Picoを付与したというのがもっとわかるといい。アプリの画面が出て、ボタンを押すと付与されるとか。
- 組合員活動の時間、GLとして話をきいていて、大学生もSDGsが頭の片隅に置かれているんだなと感じた。マイバックの率は高かった。これまでの生協での取り組みが生きているのかなと感じた。
- 大学だと全部データで資料が来る。議案書とかはデータでもいいのかも。SDGsと言いながら紙の量は気になる。
- お弁当を食べる時間を取るくらいなら早く帰りたい。でも、チョコとか少しつまめるものがあると嬉しい。

【2班】

- 議案提案はわかりやすかった。組合員活動の時間は意見がたくさん出ていたが、ゴールにたどり着けなかった感じがする。
- 「デポジット」のことなどで生協で何ができるのか、個人で何ができるかまで考えられると良いのではないか。
- 意見をたくさん出してもらうことに重点を置いていたので、議論のゴールや具体的な行動まではでなくてもよいとしていた。
- 41名という実出席は少し少ないのではないか。以前はもっと多い時もあったように思う。
- 目標参加人数は70名だった。電話がけをしたり、SMSでメッセージを送ったりしたが、目標には到達しなかった。

- 選出の時点で前向きに参加してくれる学生を選出し、総代会の実出席も意識したものにできるとよいのではないか。
- これまでも何回か参加しているが、今回は時間が早く感じた。スムーズだった。組合員活動の時間も20~30分の協議時間は長く感じる時もあるが、話し始めるとみんなが話す状況だったので長くは感じなかった。
- 組合員活動の時間の目的は？参加した人はわかるかも知れないが、聞いただけではイメージがわからない。
- 参加している立場としても最初はどんな時間になるのか？という気持ちがあったが、時間が経つにつれてどんな話をしたらよいかわかった。
- REPセッションでの意見交換を活発にするための練習的な意味合いと、理事・総代、学生・教職員、生協職員いろんな立場の人たちが集まる機会に話し合いをする場として設定した。総代会に出たいと思っ
てもらうためには組合員活動の時間が事前に伝わることも大事だと意見をもらって感じた。
- 1、2号議案提案をわかりやすくというのは常務理事会でも出していた。
- アンケートの回答で「信任するのが難しい」というのはその通りだと思った。
- スライドで紹介するとかだとどうか。
- それはそれで恥ずかしい。

【3班】

- 組合員活動の時間、話せない学生もいた。進行の学生が意見がある人に振るなど、進行側の工夫も必要だと思った。
- 電子化について、縦のものと横のものがあるので、縦のものは電子化し、横のものは別の資料というふうにしてはどうか。

【4班】

- 組合員という認識がない。サポートセンターで加入し、親がお金を払ってくれて、入学すると組合員になっているので、普段は気にしない。
- 総代の自覚。アプリの電子組合員証でどこの選挙区の総代なのかがみれるとよい。アプリで電子組合員証をみたらポイント付与というのがあればどうか。
- 総代会で生協も悩みがあることをきいて、生協の裏側を初めてみた。
- 総代会の採択の時間は短くならないのか。総代会の会場内にいる端末のみで投票できるような設定ができればいい。
- 組合員活動の時間、1つのグループの人数が多くて話をできない人がいた。時間も限られているので、話せる時間が限られてしまう。
- 1班の人数を減らすと運営側の人数がより必要になる。
- 組合員活動の時間で話せなかったことがあれば、REPセッションでも話せる時間をとればどうか。

【5班】

- 準備段階は大変だったが、成功できてよかった。総代会での役割は、総代選出だったが、出席総代が1年生だけでなく上級生も参加してくれてよかった。ただ、もっと実出席してほしかった。
- 実出席の人数は少なかったが、内容はよかったと思う。
- SDGs は世界的な取り組みだが、今回の総代会のテーマになった理由=前提の説明がなかったことが残念だった。それがあればもっと理解は深まったように思う。
- 組合員活動の時間はグループの人数が多くて、時間も短く全員の意見交換は難しかった。もう少し時間がほしい。
- 初めて出席した総代会は新鮮だった。テーマはSDGsだったが、初めての出席ということもあってSDGsがテーマに決まった背景が知りたかった。
- 自分がいた班では、話し合いの方向性が2つに割れていた。
- 学生は何ができるか、生協として何ができるか、どっちが主題なのかとまりきらなかった印象がある。
- 議論の方向性は、学生個々から出発して生協としてやることに集約する流れを想定していた。
- 初めに「プレスト」があって考えやすかった。意見は出しやすかった印象がある。時間については短い等の印象はない。
- 討論の時間が短い。リーダーに意見の取りまとめをしっかりとってほしかった。
- 先に総代会（議案提案→質疑→議決）を終えてから組合員活動の時間を設定してはどうか。2022年の進め方の方が議案の確認等も不要でスムーズだった。

- 質疑応答へ回答内容を精査する時間を確保する必要があり、組合員活動の時間を議決の前に入れていた。
- コロナ禍後の弘大生協への要望からテーマを設定してはどうか。食堂等へのニーズも大きく変わっているはずだ。

●理事会<議決事項>

第2号議案 稟議決済基準
特になし

第3号議案 2023年度理事会運営方針
特になし

●報告事項

1. 新学期の準備状況報告
この案件についてはホームページ掲載を割愛する。
2. 正規職員の人事異動
3. 学生組織活動報告
4. 5月単月と累計経営報告
 - 供給が少なくなっているが、今後どうする予定か。ポイントのマネジメントはどうしていくのか。日曜日を休みにして効率化したことにより供給が下がるのもある。
 - 供給高の予算差異は新学期の利用が減少したことによるもの。自動車学校は通年で回復していくが、講座関係は回復できない。来年以降の講座を検討する必要があると考えている。食堂・コンビニについては、夜の利用者をこれから増やしていかなければならないと思っている。60周年記念事業に500万円の予算を考えており、店舗での企画はその半分程度なので、ポイント還元はそこまで大きな負担ではないと思っている。
 - 新入生の部分については、来年に生かしてください。
5. 学生総合共済の給付状況
6. 大学関係
7. 議事録 発言録
8. 労働組合関係
9. その他
10. 経過報告

2、、3、5～10については、特に発言はなかった。

以上